

2024年度 大学院総合国際学研究科博士前期課程
<国際日本専攻 国際日本コース>

募集区分	試験科目区分	科目名	ページ	詳細
秋季募集	専門科目	基礎問題	2	日本語学、日本語教育学、日本語文学・文化、日本社会研究の各領域に関する出題のうち、5つを選択して解答する。
		論述問題	3~5	日本語学、日本語教育学、日本語文学・文化、日本社会研究の各領域に関する出題のうち、3題を選択して論述する。
冬季募集	筆答試験実施無し			

入学試験問題用紙

2024 年度
秋季 募集

大学院総合国際学研究科博士前期課程
国際日本専攻
国際日本コース
専門科目

受験番号

採点欄

1 / 5

[注意]

1. 問題用紙は、この表紙を除いて 4 枚あります。
2. 問題は、【基礎問題】と【論述問題】からなります。両方について、指示に従って解答してください。
3. 解答用紙は、【解答用紙(基礎問題)】が 5 枚、【解答用紙(論述問題)】が 3 枚あります。
4. 解答には、必ず指定された解答用紙を用いてください。

入学試験問題用紙

2024 年度
秋季募集

大学院総合国際学研究所博士前期課程

国際日本専攻
国際日本コース
専門科目

受験番号

採点欄

2 / 5

【基礎問題】

次の A1 から D4 までの各項目(術語・人名・作品)から自由に5つを選び、簡潔に説明しなさい。
解答は【解答用紙(基礎問題)】に、1 項目につき 1 枚を用い、項目番号を明記して解答すること。
解答は、日本語で書くこと。ただし、*印のある問題のみ、英語で解答してもよい。

なお、項目番号の A は日本語学、B は日本語教育学、C は日本文学・文化、D は日本社会研究の各領域からの出題であることを示す。 (24 点x5 問=120 点)

- A1 * 構造的曖昧性(structural ambiguity)と語彙的曖昧性(lexical ambiguity)
- A2 特殊音素(モーラ音素)
- A3 発話内行為(illocutionary act)
- A4 服部四郎

- B1 発達の最近接領域(zone of proximal development)
- B2 * 第二言語使用の回避(avoidance in second language use)
- B3 言語学習ストラテジー(language learning strategies)
- B4 化石化(fossilization)

- C1 『六百番歌合』
- C2 口語自由詩
- C3 水村美苗
- C4 * 大衆文化(Popular culture)

- D1 * 沖縄返還協定(The 1971 Okinawa Reversion Agreement)
- D2 * ロッキード事件(The Lockheed Incident)
- D3 * 水俣病(Minamata Disease)
- D4 * 近代家族(The Modern Family)

入学試験問題用紙

2024 年度
秋季募集

大学院総合国際学研究所博士前期課程
国際日本専攻
国際日本コース
専門科目

受験番号

採点欄

3 / 5

【論述問題】

次の A1 から D3 までの 12 題の中から、3題を選び、論述しなさい。解答は【解答用紙(論述問題)】に、1 題につき 1 枚を用い、項目番号を明記して解答すること。解答は、日本語で書くこと。ただし、*印のある問題のみ、英語で解答してもよい。

なお、項目番号の A は日本語学、B は日本語教育学、C は日本文学・文化、D は日本社会研究の各領域からの出題であることを示す。問題の選択は、各自の入学後の専門を考慮し、領域をまたがってもよい。

(60 点x3 問=180 点)

A1*

録音がない時代の日本語の発音を推定するにはどのような方法があるのか、できるだけ多く述べなさい。

A2

次の語句を 3 つのグループに分類し、それぞれのグループの文法的な特徴について説明しなさい。

しずか はだし しろい 明白 口頭 四角い

A3

「ラーメンは太る」という文について、この文が表している意味を示し、なぜそのような意味を表すかについて同様の文を挙げながら述べなさい。

B1*

第二言語習得研究における「動機づけ」の研究の理論について説明しなさい。特に「統合的動機づけ」および「道具的動機づけ」を取り上げ、その特徴や問題点などについて、根拠や具体例を示しながら論じなさい。

B2

さまざまな言語コーパスの開発により、言語教育も大きく変わりつつある。日本語教育においては、現在コーパスがどのように活用されているか、さらに今後の日本語教育がどう変わっていくと考えるか、自らの考えを根拠や具体例とともに述べなさい。

入学試験問題用紙

2024 年度
秋季募集

大学院総合国際学研究科博士前期課程

国際日本専攻
国際日本コース
専門科目

受験番号

採点欄

4 / 5

B3

日本語におけるジェンダーによる言葉づかひの相違に関し、これまで指摘されてきたことを取り上げたいうえで、日本語教育において言葉づかひの性差を扱う際に留意すべき点について論じなさい。

C1

日本の古典文学において「をかし」という表現はどのような役割を果たしているか。具体的な作品および具体的な用例を二つ以上取り上げて論じなさい。

C2

比較文学とは何か。「各国文学」「世界文学」の2つの用語を用いつつ論じなさい。

C3*

現代の映画やドラマにおいて、「家族」という問題がどのように表現されてきたか、具体例を2つ挙げて説明しなさい。

Explain how the question of “family” has been expressed in contemporary films or dramas, using two specific examples.

D1*

「核」や「原子力」が、戦後日本の大衆文化で、どのように表象され、消費されてきたか、いくつか具体的な例を挙げて、論じなさい。

Please discuss how the concept of nuclear energy has been represented in postwar Japanese popular culture. In your discussion, please mention specific examples.

入学試験問題用紙

2024 年度
秋季募集

大学院総合国際学研究科博士前期課程
国際日本専攻
国際日本コース
専門科目

受験番号

採点欄

5 / 5

D2*

従来の歴史学研究では、近世身分制社会は、「士農工商穢多非人」という少数の公式身分で構成された厳格な縦社会として描写されてきた。しかし、近年では、研究の進展により、このようなイメージが見直されるようになり、近世社会は、多様な周縁的要素を包含した流動性の高い身分秩序として捉えられるようになった。具体例を踏まえながら、この変化の背景と意義について論じなさい。

Conventionally, early modern status society has been described as a rigid hierarchy comprised of a small number of formally recognized status groups. In recent years, however, advancements in historical research about early modern Japan have led scholars to revise this view. Many now describe early modern society as a fluid network of status organizations, which included a wide array of marginal elements. Please describe the backdrop and significance of that change. In your response, please mention concrete examples.

D3*

ポスト植民地主義批評の理論家・ガヤトリ・C・スピヴァクが提起した「サバルタンは語ることができるか」のアポリアについて、具体的な事例を参照しながら論じなさい。

In her seminal article “Can The Subaltern Speak?” postcolonial theorist, Gayatri Spivak, asks whether it might be possible for the colonized, which she terms the subaltern, to speak. Please discuss this aporia. In your response, please mention concrete examples.